

## 新米国政権下の新たな日米関係の構築に関する調査研究

### (報告書の概要)

新米国政権下での新しい日米関係を構築することを目的に、政治・経済関係の有識者からなる検討会を設け、提言を取りまとめた。

#### I 政治パート

オバマ政権の政治外交上の最優先課題は、①金融・経済面での外交推進 ②テロと大量破壊兵器の拡散防止 ③気候変動、アフリカ開発、軍縮、貧困、伝染性疾患、人権、国連改革などのグローバルな課題への取組み。日本の外交・安全保障の課題は、①日米同盟の堅持、②防衛力の維持、③国際社会やアジアの安定と繁栄のための外交努力。両者の課題の統合的解決への努力のあり方について、以下のポイントについて提言。

- －米国のテロ対策としてのアフガン、パキスタン政策への日本側の対応
- －アジア太平洋の平和と安定のための多国間安全保障枠組みへの発展
- －アメリカの核抑止、核拡散防止への日本の対応
- －日本の防衛力を巡る問題の日米間の調整の必要性
- －グローバルな平和と安定のための日米間の緊密な協力関係の構築

#### II 経済パート

日米両国の経済は、現在、①未曾有の経済・金融危機 ②保護主義の高まり ③地球環境問題 という大きな課題に直面している。

- －経済金融危機に対しては、中長期的にみて、戦略的に重要な分野での技術革新、雇用拡大を内需の拡大によって実現することが重要である。
  - 金融危機に対して、金融市場、金融資産、金融機関に関する透明性を高め、不良資産を金融機関のバランスシートから早急に切り離すこと。金融機関の自己資産不足に対して十分な公的資産を準備する必要がある。
- －保護主義の高まりに対して、雇用拡大に努めるとともに、明確なメッセージを送る必要がある。
  - ・ドーハラウンドの「アーリーハーベスト」、保護主義への時限設定又はWTOの監視下に置くなどの仕組みの工夫
  - ・アジア、APECにおける自由貿易地域形成にリーダーシップを発揮
- －戦略的に重要な環境問題については、日米協調し、中国を巻き込むことが不可欠である。中期的CO2削減目標については、産業ごとに技術的に実現可能な目標を積み上げ、エネルギー効率を高める方向で中国、インドなどの新興国を参加させながら、国際的目標を設定していく必要がある。

### (報告書の主要構成)

#### I 政治パート

##### (1) 外交・安全保障政策

- (2) 東アジア太平洋政策（対中政策、朝鮮半島政策、アジア太平洋政策）
- (3) 大量破壊兵器の拡散防止及び軍縮を巡る政策
- (4) 日米安保協力関係
- (5) アフリカ貧困問題・平和構築・感染症
- (6) 国連政策

## II 経済パート

- (1) 内需拡大のための政策
- (2) これからの金融規制、監督強化の方向性を含めた金融面での対応
- (3) 経済政策のグローバルガバナンス
- (4) 地域的経済枠組み作り（A P E C，東アジア）
- (5) アジア・太平洋スタンダードの構築と中国の参加
- (6) 日米F T Aへの取組
- (7) 地球温暖化及び資源エネルギー不足への対応